

YAMAHA

PORTATONE PS-55

取扱説明書



ごあいさつ

このたびは、ヤマハポータートーンPS-55をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。

ポータートーンは、新しい音楽の楽しみ方を見つける自由な鍵盤楽器。楽器づくりの経験豊かなヤマハが、最新の電子技術を駆使して作りあげました。ピアノやストリングの楽器音からシンセサイザー感覚あふれる音まで、ワンタッチで選べる多彩な音色は左右のスピーカーによるステレオ音です。また、指1本でも自動伴奏ができるオートベースコード、演奏を華やかにするアルペジオなどコンパクトなボディに楽しさがいっぱい。さらに、メモリー機能を内蔵しています。

本書では、PS-55の魅力を充分ご活用いただけるよう、正しい取扱い方をご説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

目次

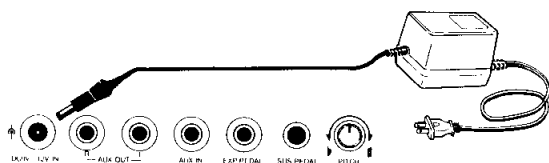
	ページ
ご使用の前に	1
各部の名称と働き	2
「聖者の行進」を弾いてみよう	5
オーケストラ	8
ソロ	9
ソロ&オーケストラ	10
リズム	11
オートベースコード ● シングルフィンガーコード	12
● フィンガードコード	14
● 其他のお楽しみ機能	15
ミュージックプログラマー	16
楽譜の読み方	18
コード早見表	19
いろんな曲を弾いてみよう	22
付属端子とオプション	30
このような現象は故障ではありません	32
仕様	34
アフターサービスと保証	35

ご使用前に

電源について

PS-55の電源は、家庭用コンセント、電池、カーバッテリーの3つを使用することができます。

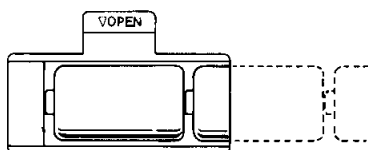
●電源アダプター(PA-4)の接続方法



PS-55の本体背面には、図のような付属端子がついています。電源アダプターのPA-4は、AC 100V (家庭用コンセント) から、DC12Vを取り出す電圧交換器ですから、付属端子の一番左側にある[DC9-12V IN]へ接続して電源を供給してください。

★PA-4以外のアダプターは使用しないで下さい。

●電池の入れ方

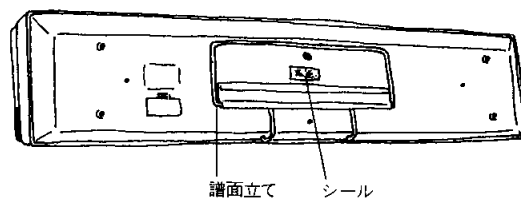


まず、本体裏面にあるケースのふたをとります。単1の乾電池を一行に6個入れます。このとき⊕⊖の方向をまちがえないようご注意ください。電源スイッチを入れたとき、スイッチの上のパイロットランプが常時点滅していたら、電池がなくなり始めています。新しい電池を用意してください。

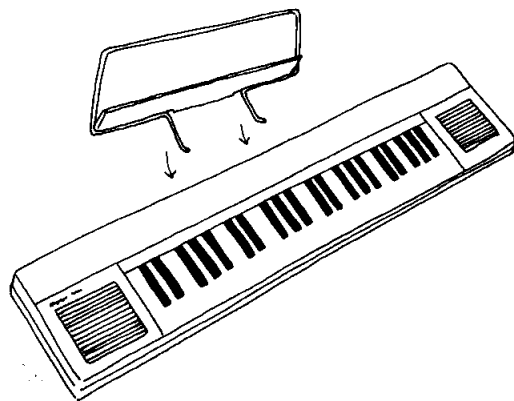
★カーバッテリーを使用するときは、専用のカーアダプター (別売) を付属端子に接続します。(接続方法については30ページをご参照ください。) カーアダプターは12Vマイナスアース車専用ですので、接続する前、車のバッテリーが12Vのものであることを必ず確認してください。

譜面立ての立て方

本体裏面にある譜面立てをはずします。(はずし方は図のシールを参照ください。)



本体をもどし、楽器の背にある2つの穴に譜面立ての両端を差しこみます。プラスチックのプレートを手前に倒すと完了です。



和文シートについて

PS-55には、本体の各部の名称が和文で書かれたシートがついています。和文の方が便利という方はシートに両面テープが貼付してありますので、本体に貼ってお使いください。

★強い直射日光に長時間さらしたり、また暖房器具のそばに置くことはさけてください。

★保管する時は湿気の少ない場所に置いてください。

各部の名称とはたらき

ミュージック・プログラマー
(16ページ)
(演奏記憶装置)

デュエット
(15ページ)

バリエーション

デュエットにさらに1音加わり、より厚みのあるサウンドになります。

デュエット

オートベースコード使用時のメロディーに、コード音を1音加えた厚みのあるサウンドが得られます。

プレイバック(ソロ/オーケストラ/コード)

再生させるときのボタンです。

レコード(ソロ/オーケストラ/コード)

記憶させるときのボタンです。

オフ(ソロ/オーケストラ/コード)

ミュージック・プログラマーのレコードおよびプレイバックを解除します。

総合音量 全体の音量を調節するレバーです。

シングルフィンガーコード

指1本の自動伴奏をするボタンです。

ノーマル

自動伴奏のキャンセルボタンです。

オートベースコード用音量レバー

自動伴奏の音量を調節するレバーです。

メモリー

指を離しても自動伴奏を続けるボタンです。

バリエーション

自動伴奏の音色およびパターンが変化します。

フィンガードコード

自分で和音を押さえて自動伴奏するボタンです。

アルペジオ音量レバー

アルペジオの音量を調節するレバーです。

バリエーション

アルペジオのパターンに変化をつけるボタンです。

トランスポーザー

半音ずつ、上下にそれぞれ半オクターブまで、キーを変えることができます。伴奏をするとき、歌う人の声の高さに調節できます。また、音の位置を移動し、やさしいハ長調の弾き方でいろいろな曲が楽しめます。



フィルイン・バー

選んだフィルインのパターンをスタートさせます。

オーケストラ音色セクター

オーケストラ音色を選ぶボタンです。右端の上下セレクターで上下いずれかひとつを選択します。

オーケストラ

オーケストラ音色を使用するときに押します。

サステイン効果

音色に自然な余韻をつけるレバーです。

オーケストラ用音量レバー

オーケストラ音量を調節するレバーです。

リズム用音量レバー

リズム音の音量を調節するレバーです。

テンポコントロール

リズムのテンポを調節します。

シンクロスタート

オートベースコード用鍵盤を押すと同時にリズムをスタートさせるボタンです。

スタート

リズムのスタート・ストップをさせるボタンです。

リズムセレクター

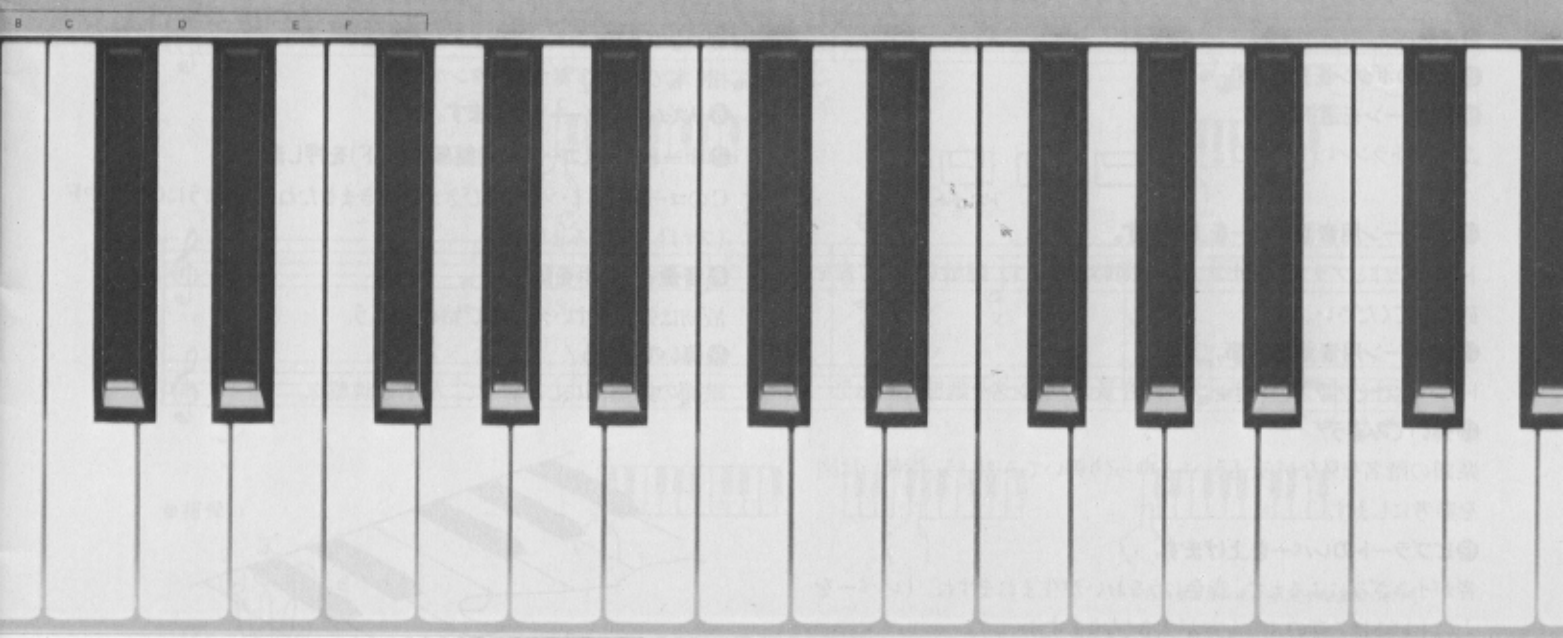
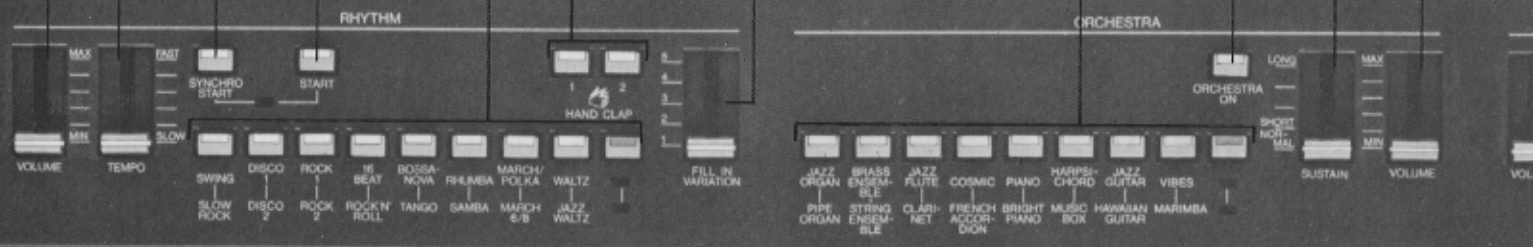
リズムの種類を選ぶボタンです。右端の上下セレクターで上下いずれかひとつを選択します。

フィルイン・バリエーション

一時的にリズムを変化させるフィルインの種類を選ぶレバーです。(実際の作動はフィルインレバーを押します)

手拍子

リズムに合わせて手拍子を入れるボタンです。2個を同時に押すこともできます。



オートベースコード用鍵盤部

自動伴奏を使って演奏するとき、伴奏を受け持つ鍵盤です。

リズム用音量レバー

リズム音の音量を調節するレバーです。

テンポコントロール

リズムのテンポを調節します。

シンクロスタート

オートベースコード用鍵盤を押すと同時にリズムをスタートさせるボタンです。

スタート

リズムのスタート・ストップをさせるボタンです。

リズムセレクター

リズムの種類を選ぶボタンです。右端の上下セレクターで上下いずれかひとつを選択します。

フィルイン・バリエーション

一時的にリズムを変化させるフィルインの種類を選ぶレバーです。(実際の作動はフィルインレバーを押します)

手拍子

リズムに合わせて手拍子を入れるボタンです。2個を同時に押すこともできます。

オーケストラ音色セレクター

オーケストラ音色を選ぶボタンです。右端の上下セレクターで上下いずれかひとつを選択します。

オーケストラ

オーケストラ音色を使用するときに押します。

サステイン効果

音色に自然な余韻をつけるレバーです。

オーケストラ用音量レバー

オーケストラ音量を調節するレバーです。



オートベースコード用鍵盤部

自動伴奏を使って演奏するとき、伴奏を受けもつ鍵盤です。

ソロ用音量レバー

ソロ音量の調節をするレバーです。

ソロ

ソロ音色を使用するときに押します。

ソロ音色セレクター

ソロ音色を選ぶボタンです。右端の上下セレクターで上下いずれかひとつを選択します。

サスティン効果

音色に自然な余韻をつけるレバーです。

ビブラート効果

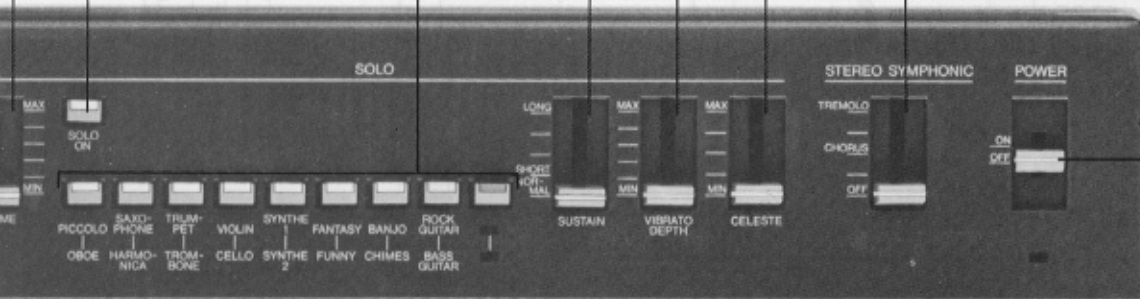
音をこざごみにふるわせ、うるおいをもたせるレバーです。

セレステ効果

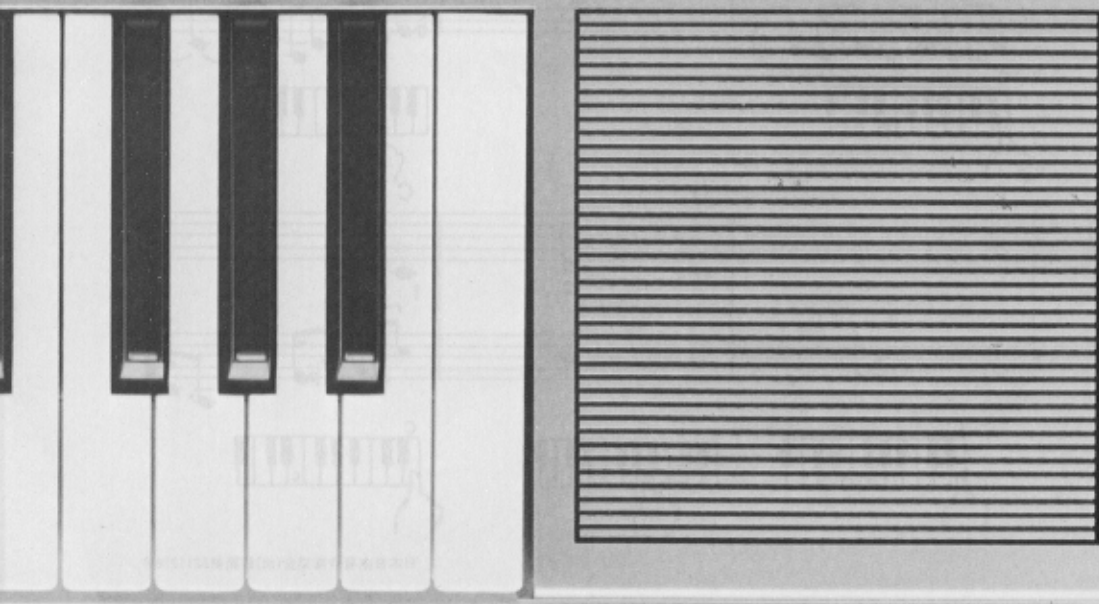
音に広がりをもたせ、複数の楽器で合奏しているような効果をもたせるレバーです。

ステレオ・シンフォニック (10ページ)

モノラル→ステレオの切換えボタンで、コーラス・トレモロの効果をかけることができます。

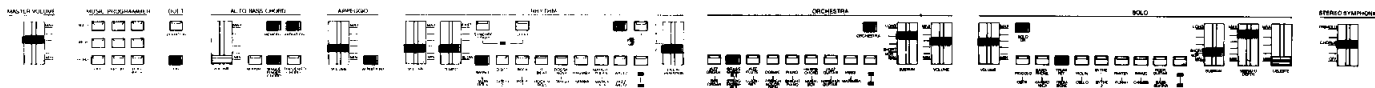
**電源スイッチ/パイロットランプ**

パイロットランプが点灯すれば、電気が通じています。

**★ピッチコントロール**

本体の背面には、音程を微妙に調整できるピッチコントロールがついています。

くわしくは()内のページをご参照ください。



聖者の行進

アメリカ民謡

When The Saints Go Marchin' In

C ← 左手はオートベースコードのC(ド)を押します。

オケストラ (メロディー)

ソロ (アドリブ)

$\frac{4}{4}$ 拍子という意味、つまり、1小節内に♩が4個入ります。

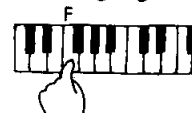
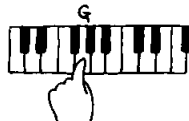


ここを押さえてもいいです。

左手はオートベースコードのG(ソ)を押します。



左手はオートベースコードのF(ファ)を押します。

●指使い



日本音楽著作権協会(出)許諾第8211278号

「聖者の行進」を弾いてみよう

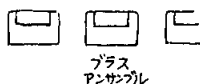
とりあえず右手だけで、メロディーを弾いてみよう

5ページの楽譜を開いてください。
ここでは、オーケストラ(メロディー)の部分だけを弾きます。
ソロ(アドリブ)の部分は17ページで使います。

まず左手はお休みして、とりあえず右手だけでメロディーを弾いてみよう。ハミングしながら弾くとリズムがとりやすいよ。

- ①電源スイッチをONにします。
- ②総合音量をまんなか位にします。
- ③オーケストラのボタンを押します。
- ④オーケストラトーンを選択。

(ここではプラスアンサンプル) ボタンの下には2つの音色名が書いてあり、右端の上下セレクターを押すと下の音色になります。(赤いランプで確認)



- ⑤オーケストラ用音量レバーを上げます。

鍵盤を押してみよう。選んだプラスアンサンプルが出てきましたね。

- ⑥オーケストラ用音量を調節。

適当な大きさに調節しましょう。(楽譜の上の図を参考にしましょう。)

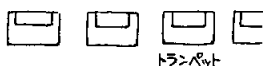
- ⑦弾いてみよう!

プラスアンサンプルの音はいかがですか。今度はソロトーンも加えて、音に厚みを増しましょう。

- ⑧ソロのボタンを押します。

- ⑨ソロトーンを選択。

ここではトランペットを選びます。



- ⑩ソロトーン用音量レバーを上げます。

トランペットとプラスアンサンプルが同時に音が出ます。鍵盤を押して音を確認してください。

- ⑪ソロトーン用音量を調節。

トランペットとプラスアンサンプルの音量のバランスを調節しましょう。

- ⑫弾いてみよう!

楽譜の階名を見ながら、もういちどゆっくり弾いてみましょう。指使いは図を参考にします。

- ⑬ビブラートのレバーを上げます。

音が小さくみにふるえて、音色にうるおいが生まれますね。(レバーを上上げるほど音のふるえ方が大きくなります。)

- ⑭ステレオシンフォニックをコーラスにします。

音色がステレオになり、さらにコーラス効果で音に広がりがあります。

次に左手でコード伴奏の練習をしてみよう。



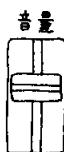
次にコード伴奏だけを練習しよう。シングルフィンガーコード(指1本で伴奏する機能)を使えば、はじめての人でもカンタン。

- ①リズムを選択。

ここではスイングを選びます。

- ②リズム用音量を調節。

まんなかよりやや上にセットします。



- ③テンポを調節。

まんなかよりやや下にセットします。



- ④オートベースコード用音量を調節。

まんなかよりやや上にセットします。

- ⑤シングルフィンガーコードのボタンを押します。

指1本で自動伴奏するボタンです。

- ⑥リズムのスタートを押します。

- ⑦オートベースコード用鍵盤部のC(ド)を押します。

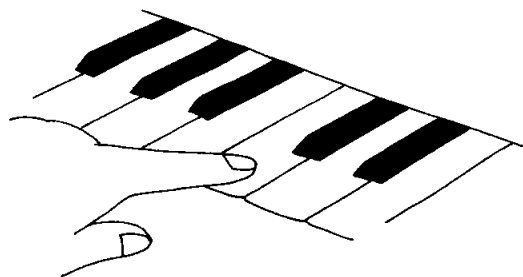
Cのコード(ド・ミ・ソ)のひびきが出てきましたね。同じようにG(ソ)やF(ファ)も押してみよう。

- ⑧音量とテンポを調節。

最初は弾きやすいテンポで始めよう。

- ⑨弾いてみよう!

譜面の鍵盤図にしたがって、左手で鍵盤を。



⑩メモリーで楽をしよう。

このボタンを押すと、指を離しても自動伴奏が続くのでとても便利。メモリーを押してもう一度弾いてみよう。

⑪バリエーションで伴奏に変化を。

バリエーションのボタンを押すと自動伴奏の音色およびパターンが変化します。曲のムードが変わりますね。

⑫アルペジオを加えよう。

アルペジオのボリュームを上げると自動的に分散和音が得られます。ここではとなりのバリエーションも押しましょう。

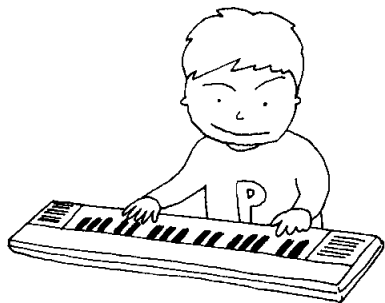
⑬手拍子を加えよう。

リズムに合わせて、自動的に手拍子が入ります。手拍子は3種類。ここでは〔1〕を押そう。

もう一度右手(メロディー)、左手(コード)の練習をしてください。それぞれが最後までうまくできましたか。

⑭いよいよ両手のプレイにチャレンジ!

最初は弾きやすいテンポで、次第にテンポを上げてみよう。どうしても弾けない人もあきらめるのはまだ早い。ミュージック・プログラマーが左手の伴奏を覚えてくれます。



ミュージックプログラマーで
左手のコード伴奏を記憶させよう。



両手を使うのはまだ、という方。ミュージック・プログラマーで左手の伴奏を記憶させましょう。

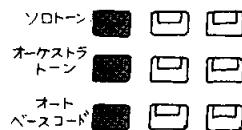
①記憶ボタンを押します。



②コード演奏を始めてください。

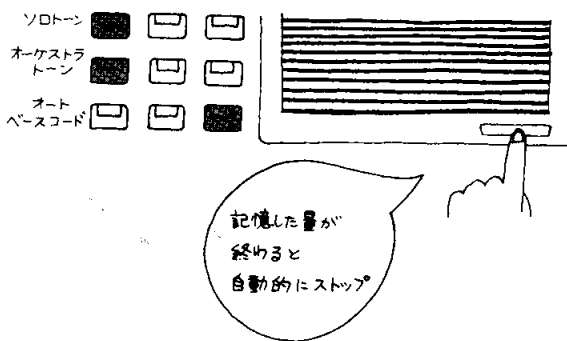
再生のときに調整できるので、テンポはゆっくり弾いてもかまいません。

③演奏が終わったらコードの停止ボタンを押します。



④再生ボタンを押して、フィルインバーを押すと再生がスタート。

再生に合わせて、何度も練習しよう。



⑤再生のときデュエットを加えてみよう。

メロディーにコード音の1音が加わり、ソロとオーケストラが美しいアンサンブルを生み出します。(バリエーションを押すと2音になります。)

⑥メロディーも記憶しよう。

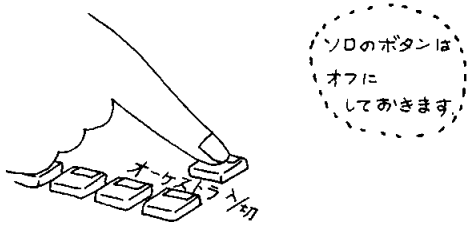
記憶したコード伴奏に合わせてうまくメロディーが弾けるようになったら、オーケストラの記憶ボタンをON。再生に合わせて記憶させよう。

やり方は16～17ページを参考にします。

オーケストラ

ポータートのオーケストラ音色は、ボタンをひとつ押すだけで16の楽器音が自由に選べます。また、同時に9音まで(オートベースコードを使っていないとき)の和音演奏もできます。

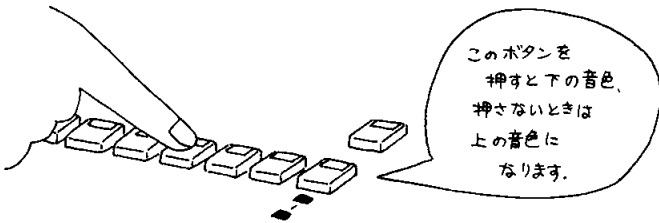
① オーケストラのボタンを押します。



電源スイッチをONにしたら、オーケストラのボタンを押します。

★オーケストラ、ソロの両方もがOFFの場合、音色はオーケストラになります。

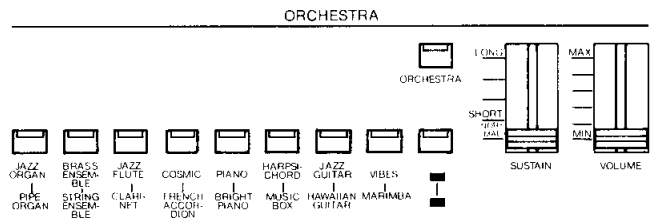
② オーケストラの音色セクターから、好きな音色を選びます。



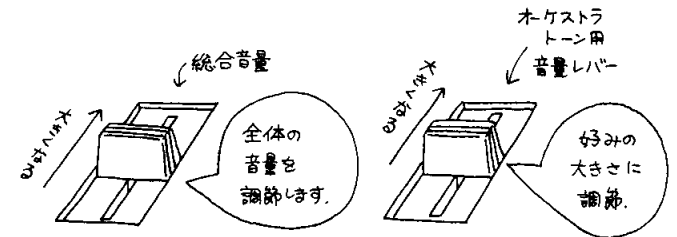
それぞれのボタンの下には2つの楽器名が書かれています。右端の上下セクターで上下いずれかをお選びください。

★同時に2つ以上の音色を押すと、右側の音色が優先します。また、いずれかの音色セクターを押すと、前に選んだ音色は自動的にキャンセルされます。

★音色セクターがすべてOFFの場合、ジャズオルガンの音になります。



③ 音量を調節します。



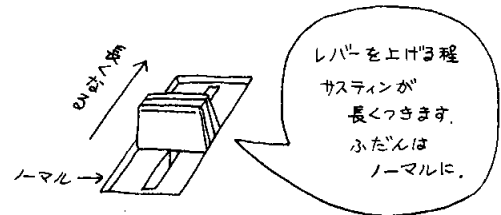
★総合音量のボリュームが最小の状態では、ごく小さな音しかできません。

④ 鍵盤を押さえましょう!

選んだ音色が出てきたことと思います。ほかの音色に変えて、いろいろなメロディーを弾いてみましょう。

サステインで音に余韻を

サステインは、音に自然な余韻をつける効果です。レバーで余韻の長さを調節しましょう。



★オーケストラ音色には大きく分けて2種類あります。

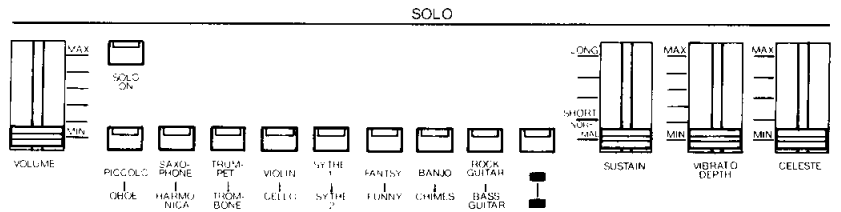
持続音：鍵盤を押している間、音が続くもの。

減す音：鍵盤を押しても段々音が消えていくもの。

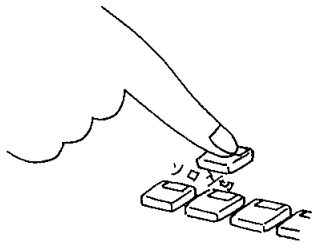
持続音	ジャズオルガン	パイプオルガン
	ブラスアンサンブル	ストリングアンサンブル
	ジャズフルート	クラリネット
	コズミック	フレンチアコーディオン
減す音	ピアノ	ブライトピアノ
	ハーブシコード	ミュージックボックス
	ジャズギター	ハワイアンギター
	ビブラホン	マリンバ

ソロ

ソロパートを演奏するためのソロ音色は、シンセサイザー技術をとり入れることで、よりリアルな楽器音が楽しめます。



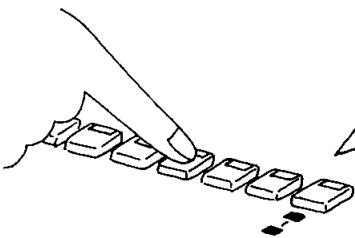
① ソロのボタンを押します。



オーケストラのボタンはオフにしておきます。

電源スイッチをONにしたら、ソロのボタンを押します。

② ソロの音色セレクターから、好きな音色を選びます。

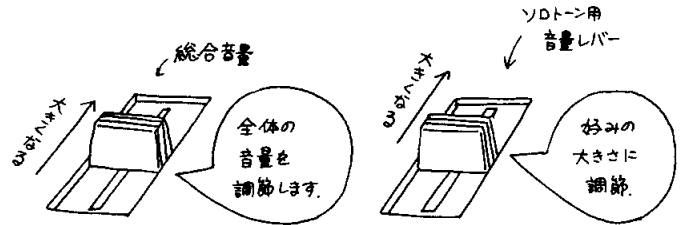


このボタンを押すと下の音色、押さないときは上の音色になります。

それぞれのボタンの下には2つの楽器名が書かれています。右端の上下セレクターで上下いずれかをお選びください。

- ★同時に2つ以上の音色を押すと、右側の音色が優先します。また、いずれかの音色セレクターを押すと、前に選んだ音色は自動的にキャンセルされます。
- ★音色セレクターがすべてOFFの場合、ピッコロの音になります。

③ 音量を調節します。



★総合音量のボリュームが最小の状態では、ごく小さな音しかできません。

④ 鍵盤を押さしましょう！

選んだ音色が出てきたことと思います。ほかの音色に変えて、いろいろなメロディーを弾いてみましょう。

★ソロ音色は単音で音が出ます。2つ以上同時に鍵盤を押さえた場合、高音の音が出ます。

サステインで音に余韻を

(8ページ参照)

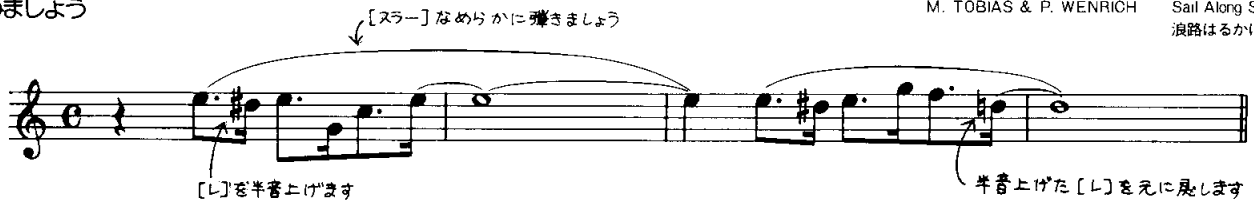
ビブラート

音をこきざみにふるわせ、うるおいをもたせる効果。レバーを上上げる程、音のふるえ方が大きくなります。

セレステ

音に広がりをもたせ、複数の楽器で合奏しているような豊かな響きにする効果。レバーを上上げる程、音の広がり方が大きくなります。

弾いてみましょう



M. TOBIAS & P. WENRICH

Sail Along Silvery Moon
浪路はるかにより

ソロ&オーケストラ

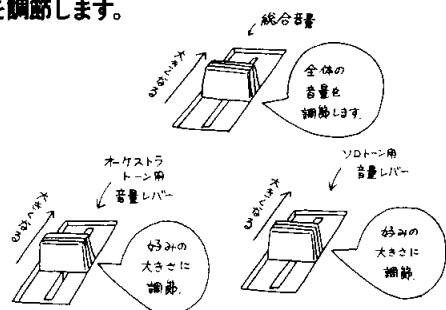
ポータートーンPS-55は、オーケストラ音色、ソロ音色の両方をアンサンブルさせることで、美しい効果を生むことができます。

① オーケストラとソロ、両方のボタンを押します。

② オーケストラ音色、ソロ音色、それぞれひとつずつ選びます。

オーケストラ音色セレクターと上下セレクター、およびソロ音色セレクターと上下セレクターで、それぞれの音色を選びます。(8、9ページ参照)

③ 音量を調節します。



ソロ用、オーケストラ用、それぞれのボリュームを調節します。

★総合音量のボリュームが最小の状態では、ごく小さな音しかできません。

④ 鍵盤を押さえましょう。

鍵盤を2つ以上同時に弾いてみましょう。いちばん高い音だけにソロ音色が加わります。

EX.

メロディー部にソロ音色が加わり、美しいアンサンブル効果が生まれます。

★ソロ用、オーケストラ用、それぞれのボリュームを調節することによりメロディーがひきたつようにします。

★1音だけ押した場合には、ソロ・オーケストラの両方の音が出ます。

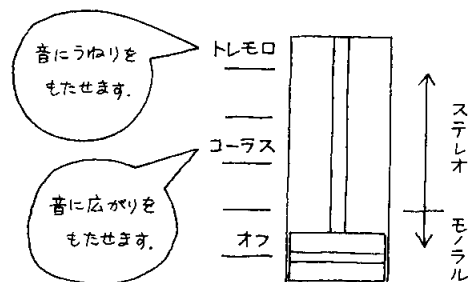
弾いてみましょう

【音色の組合わせ例】

オーケストラ音色	ソロ音色
ブラスアンサンブル	トランペット
ストリングアンサンブル	バイオリン
コズミック	ファンタジー
コズミック	シンセI

ステレオ効果

レバーを上げると、音色がステレオとなって左右のスピーカーから流れます。



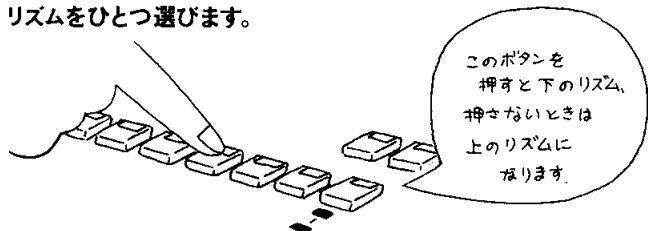
★ステレオに切り換えたときは、右からはソロ、まんなかにはベースとリズム、左からはオーケストラ、コード、アルペジオが聞こえます。

C. スコット Now Is The Hour
ナウ・イズ・ジ・アワーより

リズム

ポータートーンのリズム音色は、PCM音源使用によるライブ感覚あふれるリアルな音質で、シンバル、ドラムなどの歯切れのよい打楽器音を自動的にきざみます。

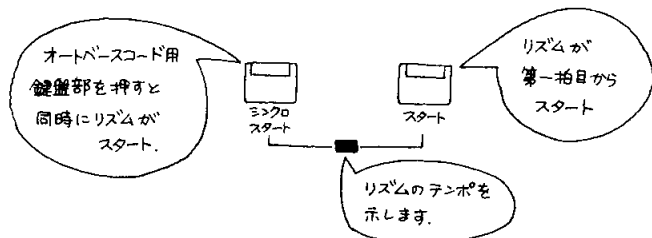
①リズムセクターから、リズムをひとつ選びます。



★同時に2つ以上のリズムを押すと、右側のリズムが優先します。また、いずれかのリズムセクターを押すと、前に選んだリズムは自動的にキャンセルされます。

★リズムセクターがすべてOFFの場合、スイングの音になります。

②スタート・シンクロスタート、どちらかのボタンを押します。



<スタート>

ボタンを押すと同時に、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。

<シンクロスタート>

オートベースコード用鍵盤部を押すと同時に、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。点滅するランプでテンポを確認して、メロディーとリズムを同時にスタートさせることができます。

★リズムをとめるときには、もう1度スタートまたはシンクロスタートを押します。

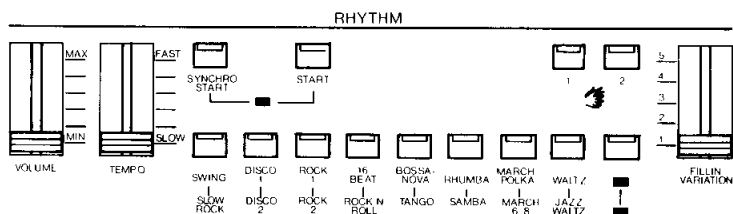
★スタートとシンクロスタートを両方も押した場合、スタートが優先します。

③リズム用音量レバーで、音の大きさを調節。

★総合音量の調節も忘れずに。

④テンポレバーで、リズムの速さを調節。

★リズムの速さはテンポランプを見れば、目で確認できます。



ハンドクラップ(手拍子)を加えてみましょう。



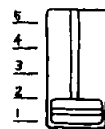
ハンドクラップに合わせて手をたたき、リズム感がつかもう!

リズムを選んだ後にハンドクラップのボタンを押すと、自動的に手拍子が加わります。1と2の2種類の手拍子がありますが、同時に両方を押すこともできます。

フィルインで、リズムに変化を。

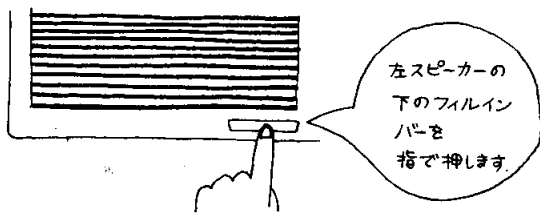
リズムを出しているとき、メロディーの切れ目など必要なときに、リズムに変化をつけることができます。

①フィルインバリエーションからひとつ選びます。



リズムに合わせて5パターンのフィルインが選べます。

②リズムをスタートさせておき必要なときにフィルイン・バーをチョンと押してください。



その小節の終わりまで変則的なリズムに変わり、次の小節は元のリズムにもどります。

★フィルインを押し続けると変則的なリズムが長く続きます。

★フィルインのパターンが出ているときには、オートベースコード・アルペジオの音は出ません。

オートベースコード^(自動伴奏装置)

シングルフィンガーコード

シングルフィンガーコードは鍵盤をひとつ押さえるだけで、和音とベース音による自動伴奏ができます。鍵盤経験のない方や、コード伴奏に慣れていない方も、指1本で伴奏が楽しめます。

DUET



VARIAION



ON

AUTO BASS CHORD



VOLUME



MEMORY VARIATION



NORMAL



SINGLE FINGER CHORD



FINGERED CHORD

ARPEGGIO



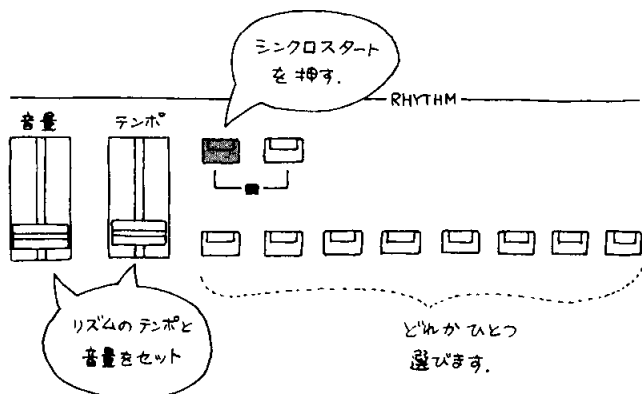
VOLUME



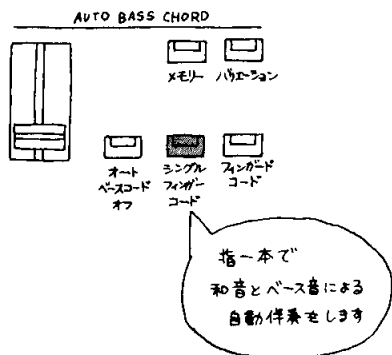
VARIATION

①リズムをセットします。

(11ページ参照)

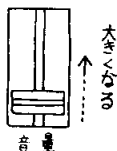


②シングルフィンガーコードのボタンを押します。



③オートベースコード用レバーを

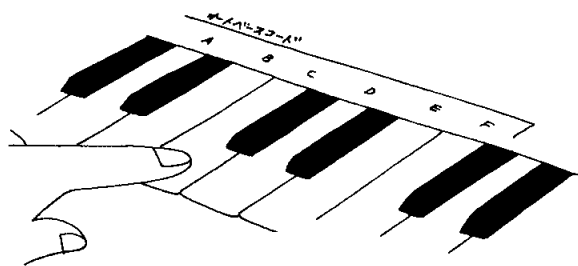
まんなか位にセットします。



★総合音量のボリュームが最小の状態では、ごく小さな音しかできません。

④オートベースコード用鍵盤を

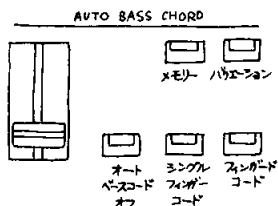
どれかひとつ押さえます。



オートベースコード用鍵盤(左はじの19鍵)を押すとリズムがスタート。和音とベース音がリズムに合わせてできます。好みの音量に調節しましょう。

メモリーで楽をしよう。

メモリーのボタンを押すと、鍵盤から指を離れたあとと同じ伴奏がくり返されます。コードが変わるときだけ、鍵盤を押してください。



★シングルフィンガーコード、フィンガードコードの両方に使えます。

★コードを変えるときは、指を一度鍵盤から離してください。

★リズムをセットしない場合、持続音が鳴り続けます。メモリーを解除すれば鳴りやみます。

バリエーションで、ベース音に変化を。

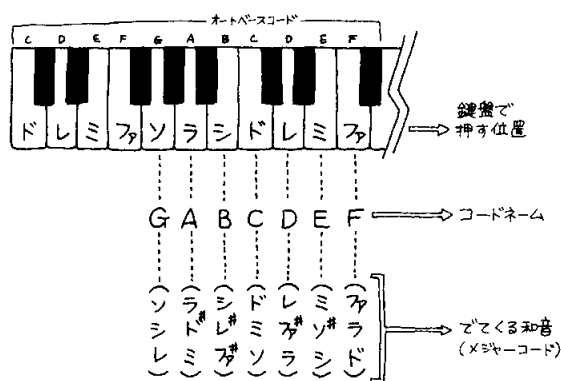
バリエーションは、自動伴奏のコードの音色およびパターンと、ベース音を変化させるボタンです。曲の雰囲気に合わせて使ってください。

★リズムをセットせずにオートベースコードを使うと、和音とベース音の伴奏はリズムにのらない持続音になります。曲によっては、この伴奏の方が効果的な場合があります。また、リズムに合わせづらいつきも、持続音の伴奏で練習するとやさしくできます。自動伴奏の音色は、音色セレクターで選んだ音色に関係ありません。

⑤ シングルフィンガーコードを使って曲を弾いてみよう。

次の図は、オートベースコード用鍵盤を押す位置と、出てくる和音の関係を示したものです。

5ページの楽譜を見ながら、オートベースコードの練習をしましょう。



♯、♭のついているコードの出し方。

メジャーコード(例えば[C][F]など)の中には、[F♯]や[B♭]のように♯(シャープ)や♭(フラット)のついているものがあります。この♯、♭は、音符についている場合と同じように、半音上げる(♯)、半音下げる(♭)のように指示する記号です。

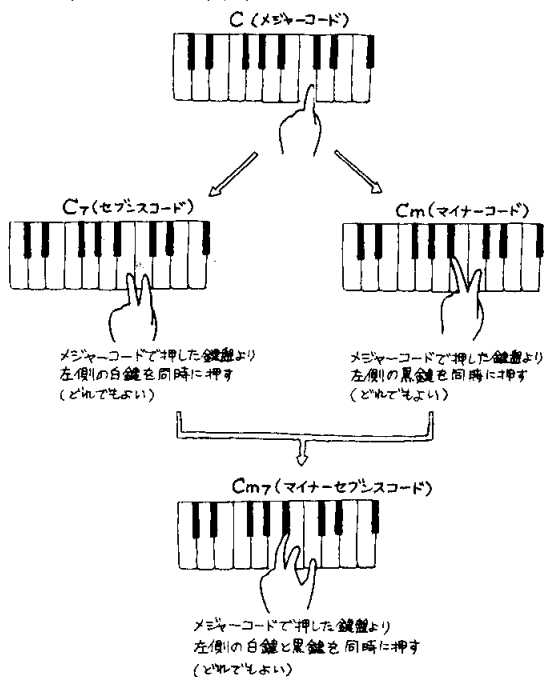


(コードネーム)

♯がついていたら、上の図で説明した位置の右上の黒鍵、♭がついていたら左上の黒鍵を押せば、♯・♭のついたコードが出せます。

[m)、[7]のついているコードの出し方。

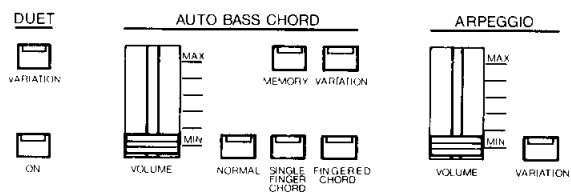
伴奏はメジャーコードだけとは限りません。例えば[G7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下図のように、2つの鍵盤を同時に押すことで出すことができます。



オートベースコード (自動伴奏装置)

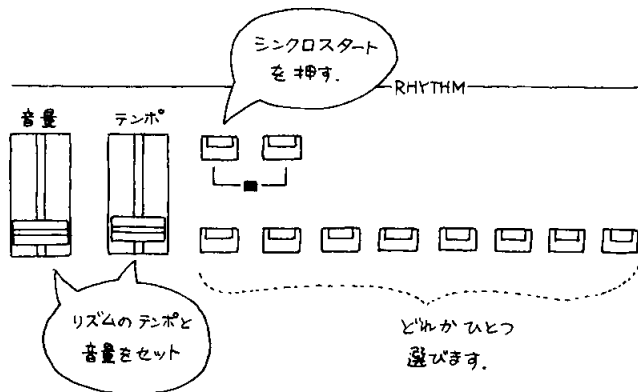
フィンガードコード

フィンガードコードは和音を押さえることで、和音とベース音の自動伴奏ができます。コードの伴奏づけに慣れている方には、シングルフィンガーコードよりも使いやすい自動伴奏です。

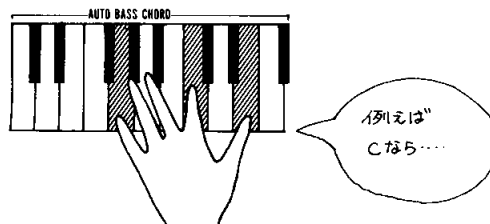


① リズムをセットします。

(11ページ参照)

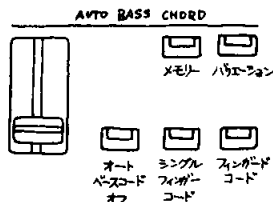


④ オートベースコード用鍵盤で和音を弾きます。



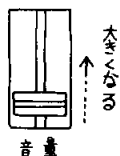
和音とそれに応じたベース音がリズムによってできます。好みの音量に調節しましょう。

② フィンガードコードのボタンを押します。



③ オートベースコード用レバーを

まんなか位にセットします。



★総合音量のボリュームが最小の状態では、ごく小さな音しかできません。

⑤ フィンガードコードを使って曲を弾いてみよう。

19～21ページのコード早見表(フィンガードコード)を参考にして、5ページの楽譜を弾いてみましょう。

★シングルフィンガーコードと同じようにメモリー・バリエーションも使えます。(12ページ参照)

その他のお楽しみ機能

アルペジオ

アルペジオは、ハープやギターなどのように、音を連続して奏でる分散和音的な奏法のこと。ポータートーンでは、自動伴奏使用時にボリュームを上げるだけでアルペジオが得られます。

①リズムとオートベースコードにより 自動伴奏をスタートさせます。

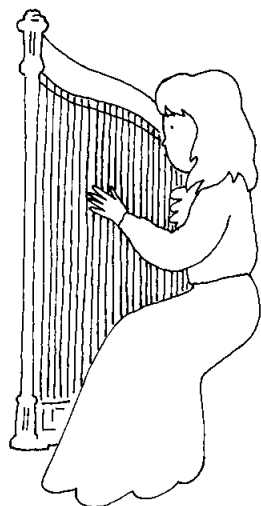
(11~14ページ参照)

★アルペジオは、リズムとオートベースコードのシングルフィンガーコードまたはフィンガードコードを必ずセットしてください。

②アルペジオの音量レバーを上げます。

★アルペジオが不要な場合にはボリュームを最小にしておきます。

③アルペジオ用バリエーションでアルペジオの パターンに変化をつけましょう。



デュエット

オートベースコードと連動してメロディー演奏をするとき、自動的にコード音の中の1音がメロディーに加わり、厚みのある重音演奏をすることができます。

①オートベースコードにより自動伴奏を スタートさせます。

(12~14ページ参照)

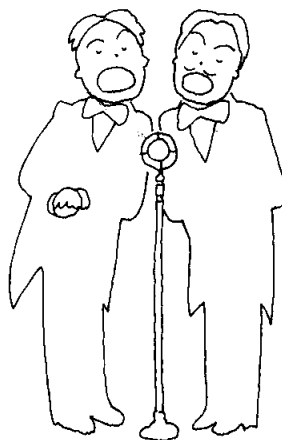
②デュエットのボタンを押して、 メロディー演奏をはじめてください。

自動的にデュエット音がつきます。

③さらにバリエーションのボタンを押すと デュエットは2音になります。

★デュエットはソロ・オーケストラともに有効ですがオーケストラ用音量を必ず上げてください。

★ソロ、オーケストラの両方のボタンを押した時には、メロディーはソロ音色、デュエットはオーケストラ音色で出ます。



ミュージックプログラマー (演奏記憶装置)

ミュージックプログラマーはコード・オーケストラ・ソロをそれぞれ独立して記憶させることができます。両手の演奏に慣れていない方から、高度な演奏をめざす方まで、使い方はさまざまです。ここでは5ページの「聖者の行進」を例に演奏記憶をしてみましょう。

コード

レコード(記憶)

① 曲に合ったリズムを選びます。

★テンポは再生の時に調節できるので、ゆっくり弾いてもかまいません。

② コードの記憶ボタンを押します。



★ソロとオーケストラは停止にしておきます。

★コードの記憶の時にはシングルフィンガーコード・メモリー・シンクロスタートが自動的に作動します。

★フィンガードコードで記憶させるときには、フィンガードコードのボタンを押します。

③ コードを記憶させます。

5ページの楽譜をよく見ながら、ゆっくりとプログラムしましょう。間違えたときには、もう1度最初からやり直します。

メロディーを耳ざさみながら記憶させましょう。

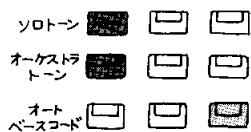
★コードがない(リズムだけの)小節を作るには、必要な長さだけフィルイン・バーを押します。

④ 記憶が終わったら、停止のボタンを押します。

★シンクロスタート、シングルフィンガーコードを押しても停止しません。

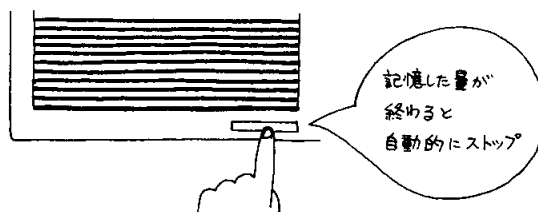
プレイバック(再生)

① コードの再生ボタンを押します。



★ソロとオーケストラは停止にしておきます。

② フィルイン・バーを押します。



再生がスタートします。

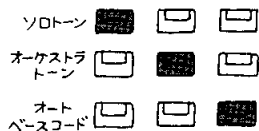
★オートベースコード用鍵盤を押しても再生がスタートします。

★新しいコードを記憶させない限り電源を切っても記憶されたコードは約10日間有効です。

③ 再生の途中でストップしたい場合にはコードの停止ボタンを押します。

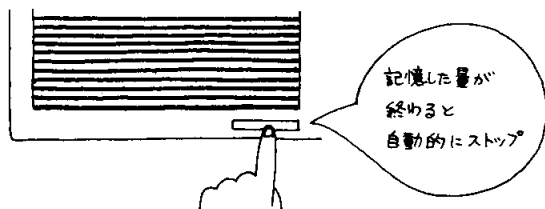
オーケストラ

- ①記憶させた「聖者の行進」のコード再生ボタンを押します。
- ②オーケストラの記憶ボタンを押します。



★シンクロスタートは自動的にセットされます。

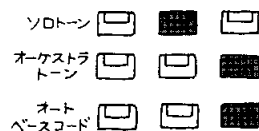
- ③フィルイン・バーで再生をスタートさせ、コードに合わせてメロディーを弾きます。



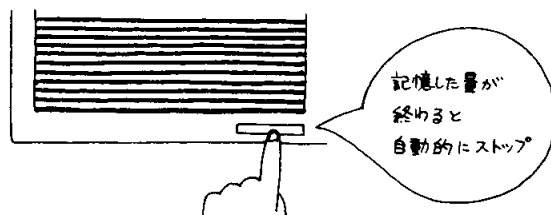
- ★メロディーは単音のみしか記憶されません。
 - ★オートベースコード用鍵盤を押してもリズムがスタートします。
- ④演奏が終わったらコードとオーケストラの停止ボタンを押します。

ソロ

- ①コードとオーケストラの再生ボタンを押します。
- ②ソロの記憶ボタンを押します。

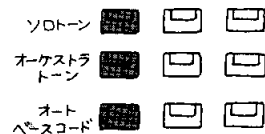


- ③フィルイン・バーで再生をスタートさせ、コードとオーケストラに合わせて、5ページの楽譜を見ながらソロ(アドリブ)を弾きましょう。

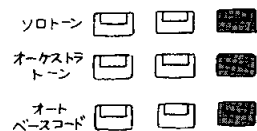


★オートベースコード用鍵盤を押しても再生がスタートします。

- ④演奏が終わったらすべての停止ボタンを押します。



- ⑤さあ、コード・オーケストラ・ソロの再生ボタンを押して、あなたのミュージックライブラリーを聞いてみましょう。

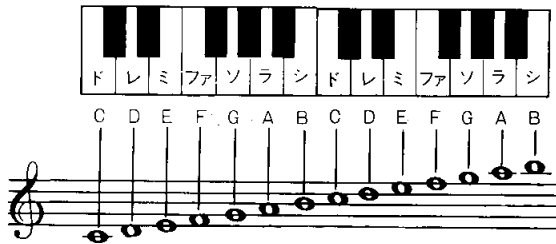


- ★プログラムしたコード・オーケストラ・ソロはそれぞれ独立して再生することも可能です。
- ★再生時にデュエットのボタンを押すといっそう効果的です。
- ★コード・オーケストラ・ソロは同時に記憶させることもできます。

楽譜の読み方

■五線譜の読み方は

はじめに、鍵盤と五線譜
の関係を示してみると…



■音符と休符の長さは

音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ
全音符	↑ ↑ ↑ ↑ 4つのばす
付点2分音符	↑ ↑ ↑ 3つのばす
2分音符	↑ ↑ 2つのばす
4分音符	
8分音符	♪ (♪♪=♪) 半分にする
3連音符	♪ (♪♪♪) 3等分する

休符の種類と名称	4分休符と比較した長さ
全休符	よよよよ 4つ分休む
付点2分休符	よよよ 3つ分休む
2分休符	よよ 2つ分休む
4分休符	
8分休符	♪ (♪♪=♪) 半分休む

(♪♪♪ は) ♪ を3等分)

■記号を覚えましょう

記号とよみ方	意味
# シャープ	半音あげる
b フラット	半音さげる
♮ ナチュラル	もとの音にもどす
♪ タイ	音を続ける
スラー	なめらかに
フェルマータ	その音をのばす
Tacet タセット	伴奏を休む
Fine フィーネ	おわり

記号とよみ方	意味
リビート	くりかえし
1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあと「2」へ。
D.C. ダカーボ	最初から。 Fine D.C.
D.S. ダルセーニョ	記号※から Fine D.S.
♯ Coda コーダ	くりかえしのあと♯ Codaへ。

コード早見表

シングルフィンガーコード

メジャーコード

C	
C'(D')	
D	
E'(D')	
E	
F	
F'(G')	
G	
A'(G')	
A	
B'(A')	
B	

マイナーコード

Cm	
C'm (D'm)	
Dm	
E'm (D'm)	
Em	
Fm	
F'm (G'm)	
Gm	
A'm (G'm)	
Am	
B'm (A'm)	
Bm	


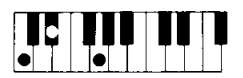
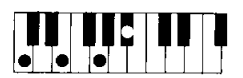





















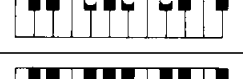













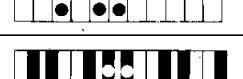
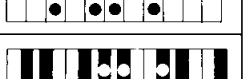




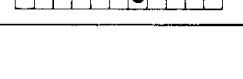
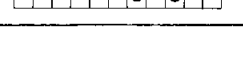
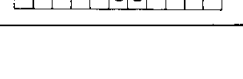
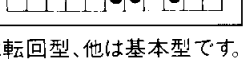
セブンスコード

C7	
C'7 (D'7)	
D7	
E'7 (D'7)	
E7	
F7	
F'7 (G'7)	
G7	
A'7 (G'7)	
A7	
B'7 (A'7)	
B7	

マイナーセブンスコード

Cm7	
C'm7 (D'm7)	
Dm7	
E'm7 (D'm7)	
Em7	
Fm7	
F'm7 (G'm7)	
Gm7	
A'm7 (G'm7)	
Am7	
B'm7 (A'm7)	
Bm7	

フィンガードコード

メジャーコード		マイナーコード		セブンスコード		マイナーセブンスコード	
C		Cm		C7		Cm7	
C [♯] (D [♯])		C [♯] m (D [♯] m)		C [♯] 7 (D [♯] 7)		C [♯] m7 (D [♯] m7)	
D		Dm		D7		Dm7	
E [♯] (D [♯])		E [♯] m (D [♯] m)		E [♯] 7 (D [♯] 7)		E [♯] m7 (D [♯] m7)	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F [♯] (G [♯])		F [♯] m (G [♯] m)		F [♯] 7 (G [♯] 7)		F [♯] m7 (G [♯] m7)	
G		Gm		G7		Gm7	
A [♯] (G [♯])		A [♯] m (G [♯] m)		A [♯] 7 (G [♯] 7)		A [♯] m7 (G [♯] m7)	
A		Am		* A7		* Am7	
B [♯] (A [♯])		B [♯] m (A [♯] m)		* B [♯] 7 (A [♯] 7)		* B [♯] m7 (A [♯] m7)	
B		Bm		* B7		* Bm7	

※は転回型、他は基本型です。

メジャーセブンスコード

Cmaj7	
C [♯] maj7 (D [♯] maj7)	
Dmaj7	
E [♯] maj7 [*] (D [♯] maj7)	
E [♭] maj7	
Fmaj7	
F [♯] maj7 (G [♯] maj7)	
Gmaj7	
* A [♯] maj7 (G [♯] maj7)	
* Amaj7	
* B [♯] maj7 (A [♯] maj7)	
* Bmaj7	

ディミニッシュコード

Cdim	
C [♯] dim (D [♯] dim)	
Ddim	
E [♯] dim (D [♯] dim)	
E [♭] dim	
Fdim	
F [♯] dim (G [♯] dim)	
Gdim	
A [♯] dim (G [♯] dim)	
A [♭] dim	
* B [♯] dim (A [♯] dim)	
* Bdim	

セブンスサンペンデッド
フォースコード

C7sus4	
C [♯] 7sus4 (D [♯] 7sus4)	
D7sus4	
E [♯] 7sus4 (D [♯] 7sus4)	
E [♭] 7sus4	
F7sus4	
F [♯] 7sus4 (G [♯] 7sus4)	
G7sus4	
A [♯] 7sus4 (G [♯] 7sus4)	
* A7sus4	
* B [♯] 7sus4 (A [♯] 7sus4)	
* B7sus4	

※は転回型、他は基本型です。

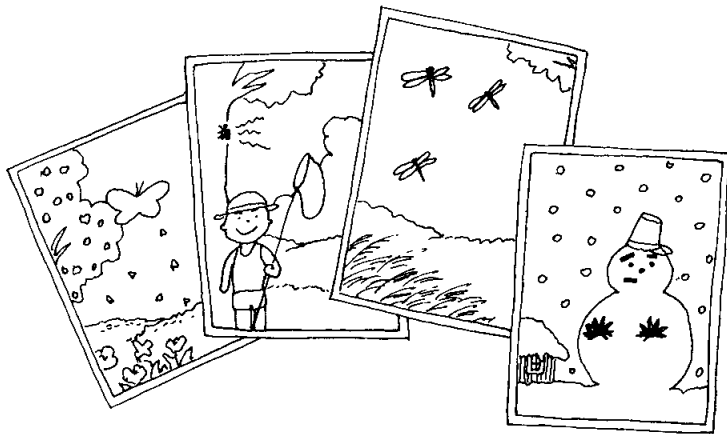
四季のうた

作曲 荒木とよひさ

The musical score is written on six staves in treble clef with a common time signature (C). The notes are as follows:

- Staff 1: Dm, Am, E7, Am
- Staff 2: Am, Dm, Am
- Staff 3: Dm, Am, E7, Am
- Staff 4: B7, E7, Am
- Staff 5: Dm, Am, Dm, Am
- Staff 6: E7, Am, Dm, E7, Am

© 1972 & 1976 by Pacific Music Publishing Co., Ltd. 日本音楽著作権協会(出)許諾第8211278号



次のページからの曲は、PS-55のミュージックプログラマー機能をフルにいかしていただくように編曲されています。音色のセットは楽譜の上に示す図を参考にしてください。また、弾き方はまずコードとソロ(メロディー)を記憶させ、(コードとメロディーは別々に記憶させることもできます)これに合せながらオーケストラ・パートを記憶させてください。

MUSIC PROGRAMMABLE QUIET AUTO BASE CHORDS ARRANGEMENT BUYING ORCHESTRA SOLO STEREO SYMPHONY

喜びの歌

作曲 L. Van Beethoven

from Choral Symphony

ソロ

オーケストラ

ステレオシンフォニックをコーラスに
デュエットのバリエーションもON

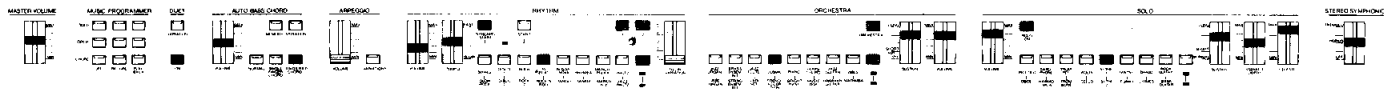
1回目はハーモニコード, 2回目はストリングアンサンブル

1. G7 C

2. G7 C F

パイプオルガン

ファイルン(2)



抱きしめたい

作曲 J. Lennon & P. McCartney

(I Want To Hold Your Hand)

ソロ

オーケストラ

ストリングアンサンブル

くり返しの時に
ハーモニカ

ファンタジー

フルートまたはフレンチアコーディオン

1. C 3-1 | 2. C

ハーモニカ
またはファンタジー

ストリングアンサンブル

G7 F G7 E7 F G7 F C

ジャズフルート

D.S.

コスミック F C

ストリングアンサンブル F C

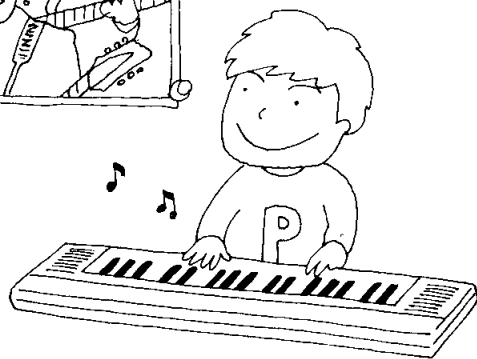
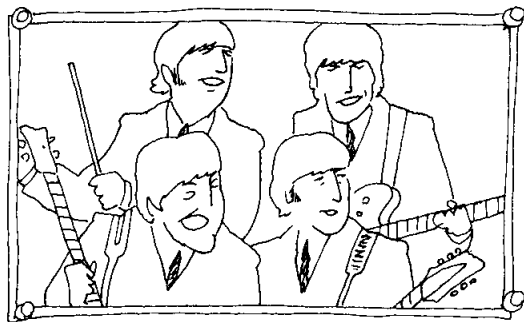
パイプオルガンまたはコスミック F C

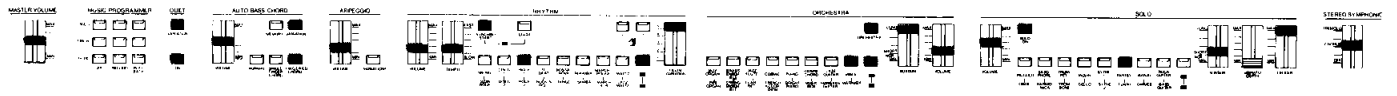
シンセI

F. O.

The musical score consists of two systems of piano accompaniment. The first system has a treble clef staff with a melody and a bass clef staff with a bass line. Chords G7, F, G7, E7, F, G7, F, and C are written above the treble staff. The second system also has two staves. The treble staff has chords F, C, F, C, F, C above it. The bass staff has a rhythmic accompaniment. The instruction 'D.S.' is placed between the two systems. Various instrument annotations are placed above and below the staves.

© Copyright 1963 for the World by NORTHERN SONGS LTD. 日本音楽著作権協会(出)許諾第8211278号
Rights for Japan controlled by SHINKO Music Publishing Co., Ltd.





悲しき雨音

Rhythm of The Rain

作曲 J. Gummo

ソプラノ

ピアノ

ベース

F

ファンタジー

フォルイン(5)

Dm7

Gm7

C7

F

Bb

F

C7

F

Bb

2回目(くり返し)ではゴズミックに

F

C7

1-F

C7

2-F

F7

Bb

ミンセI

Am

Bb

くり返しではミの全音程で弾いてみよう

F

Dm

Gm

C7

F

C7

F

パイプオルガン

B \flat F C7 F B \flat F C7
 F C7 F Dm7
 Gm7 C7
 Gm7 C7
 D.S.

ストリングアンサンブル

© 1962 by CHERMAN-DE VORZON Music Corp. EDWIN H. MORRIS and Co., Ltd. 日本音楽著作権協会(出)許諾第8211278号
 Rights for Japan assigned to CHAPPELL K.K.

MASTER VOLUME MUSIC PROGRAMS* QUIT AUTO BASS CHORD AMP/EGG RHYTHM ORCHESTRA MIXO SOLID STEREO SPANPHONE

虹の彼方に

Over The Rainbow

作曲 H. Allen

オーケストラ

C Am7 Em7 C7 F7 Cdim C C7 C#dim A7 C(+5) C B A7 A7(-13)

D7 G7 C *バイオリン Gaug* C Am7 Em7 C7 F7 Cdim C C#dim A7

ストリングアンサンブル

F7 Bb7(13) C B A7 A7(-13) D7 G7 C *ハーモニカ* C(9) G7sus4

コスミック

C B Aug D7 C Ebdim

ブラスアンサンブル

C Am7 Em7 C7 F7 Cdim C C#dim A7 A7 Gaug C B A7 A7(-13)

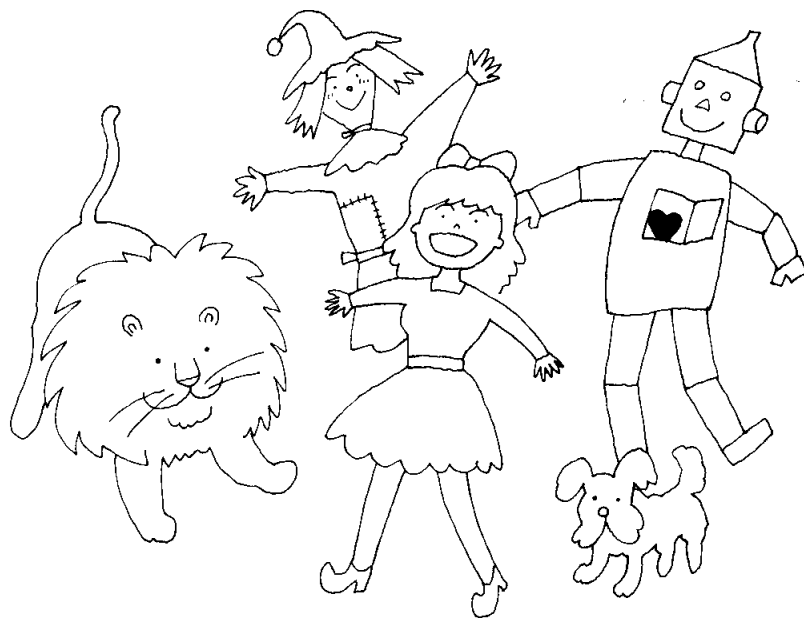
ストリング

D7 G7 ^{バイオリン} C G7 ³ C^b E^bdim Gm7 C[#]dim F7 Cdim C C[#]dim A7
 A7 Caug C B A7 A7⁽⁻¹³⁾ D7 G7 C C7 F7 E7⁽⁻¹³⁾ G7 C E^bdim
 Gm7 C[#]dim F7 Cdim C C[#]dim A7 A7 Caug C B A7 A7⁽⁻¹³⁾ D7 G7
 コズミック

F. O.

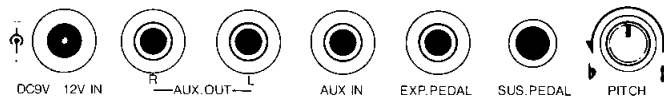
日本音楽著作権協会(出)許諾第8211278号

© 1938 by METRO-GOLDWIN-MAYER Inc. & FEIST, LEO, Inc.
 Assigned for Japan to UNITED ARTISTS Music.(Japan) Inc. Tokyo, Japan.



付属端子とオプション

PS-55の本体右上には、図のような外部端子がついています。これらを活用すれば、PS-55の楽しさはいっそう広がります。(ヘッドホンは左前にあります。)



① HEADPHONES端子

ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでもご使用になれます。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。



オプション(別売)

● ライトウエイトヘッドホン(YH-51)(YH-35)



② AUX OUT端子

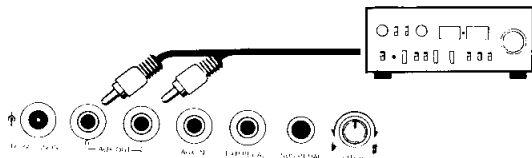
A. より豊かな音量で。

PS-55は、内蔵のスピーカーでも十分な音量でお楽しみいただけますが、パーティーや戸外での演奏など、より大きな音量が必要なときには、このAUX OUT端子を使って、トーンキャビネットやアンプなどに接続してください。迫力あるサウンドが楽しめます。

また、ステレオなどのスピーカーから音を出したいときにも、この端子を使います。ステレオなどのLINE INジャックに接続してください。

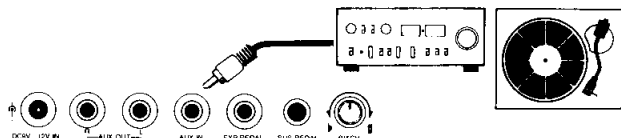
B. 演奏を録音

PS-55の演奏を録音したいときは、このAUX OUT端子を使って、テープデッキのLINE INジャックに接続してください。録音レベルは、テープデッキで調整できます。



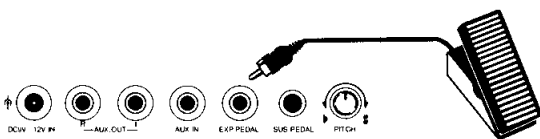
③AUX IN端子

レコードやテープの音をPS-55本体のスピーカーから出したいときに使う端子です。レコードやテープの音量は、PS-55のマスターボリュームでは調節できませんから、ステレオやテープデッキの音量コントローラーをお使いください。



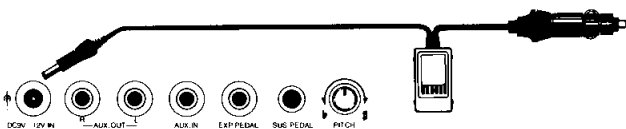
④EXP.PEDAL端子

エクスプレッションペダルは、演奏中、足で自由に音量を調節することができるペダルです。このEXP PEDAL端子に接続してお使いください。



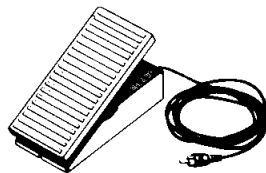
⑤DC 9V-12V IN端子

カーバッテリー（シガーライターソケット）から電源をとるときには、この端子を使います。専用のカーアダプターを接続してください。



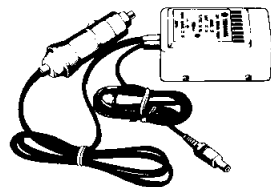
オプション(別売)

●エクスプレッションペダル(EP-1)



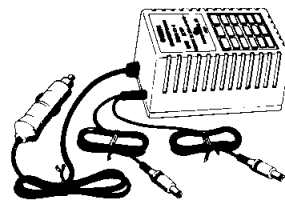
〔CA-1〕

車のシガーライターソケットから本体へ電源を供給します。このアダプターは、異常電圧から本体を保護するための回路を内蔵しています。



●カーアダプター〔CA-2〕オプション(別売)

接続コードが2つに分かれているタイプで、本体と同時にトーンボックスなどへの電源が取りだせます。

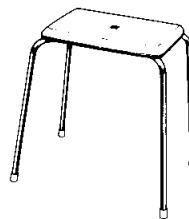


★PS-55には〔CA-1〕または〔CA-2〕をご使用ください。他のアダプターをご使用にならないようにお願いします。

●スタンド(L-2)



●イス(BC-2)



このような現象は故障ではありません

現象	原因	解決法
オーケストラ音色が出ない。	ソロボタンが押されている。	①8ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。 ②オーケストラ音色のみで演奏したいときは、ソロボタンをOFFにしてください。(ソロ音色と同時に出したいときは、オーケストラとソロの両方をON)
ソロ音色が出ない。	ソロボタンが押されていない。	9ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
オーケストラ音色、またはソロ音色セクターで選んだ音色とは別の音色が出る。	①上下セクターを操作していない。 ②オーケストラ・ソロのボタンを操作していない。 ③オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤部で弾いている。	①②8、9ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。 ③オートベースコードを使っている場合、オートベースコード用鍵盤部の音色は、選んだ音色と関係ありません。
オーケストラ音色は、鍵盤を同時に10音おさえても9音しか出ない。また、ソロ音色は、2音おさえても1音しか出ない。	オーケストラ音色は最高9音まで、ソロ音色は1音しか出ないようにになっています。(オートベースコードを使用していないとき)	オーケストラ音色は先におさえた鍵盤の音を、ソロ音色は高音を優先します。
リズムの音が出ない	①スタートボタンがどちらも押されていない。 ②シンクrostartボタンを押して、オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ③リズムボリュームが最小になっている。	11ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
リズムセクターで選んだリズムとは別のリズムが出る。	①上下セクターを操作していない。 ②フィルイン・バーのスイッチが押されている。	①11ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。 ②フィルインバリエーションを使うと、リズムは変化パターンに切りかわります。
音色セクター、またはリズムセクターを2つ入れても、1種類しか出ない。	オーケストラ音色、ソロ音色、およびリズムは、それぞれ一度にひとつしか選べません。	同時に2つ以上入れた場合は右側が優先します。
オートベースコードの音が出ない。または、リズムにのらない。	①シングルフィンガーコード、フィンガードコードのボタンがどちらも押されていない。 ②オートベースコード用鍵盤をおさえていない。 ③オートベースコードボリュームが最小になっている。 ④リズムがセットされていない。	12～15ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
メモリーを使って、オートベースコードで伴奏しているとき、指を変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤を指を離さずに弾いているため。	メモリーを使ったオートベースコード伴奏では、コードチェンジをするとき、一度指を離すようにしてください。

現 象	原 因	解 決 法
オートベースコードを使っているとき、オーケストラ音色は、鍵盤を同時に5音おさえても4音しか出ない。	オートベースコードを使っているとき、オーケストラ音色は、同時に4音までしか出ないようにになっています。	先におさえた4音が優先します。
アルペジオの音が出ない。	①リズムまたはオートベースコードのシングルフィンガーコード、フィンガードコードのどちらかがセットされていない。 ②アルペジオボリュームが最小になっている。	15ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パイロットランプが点滅する。	①電池がなくなりかかっているため。 ②音量が大きいとき、一時的に電圧が下がるため。	①新しい電池をご用意ください。 ②ご心配いりません。
電池の寿命が短い。	通常の単1型電池の寿命は、1～2時間程度です。	①アルカリ電池を使用すれば5～6時間も持ちます。 ②ご家庭では電源アダプターをご使用ください。
デュエットの音が出ない。	①オートベースコードを使用していない。 ②オーケストラのボリュームが上がっていない。	15ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
コードメモリーが停止しない。	コードメモリーはシンクロススタートまたはシングルフィンガーコードを押しても止まりません。	コードメモリーの停止ボタンを押してください。
コードを記憶しない。	記憶の途中でフィルインバーにふれたため。	フィルインバーが押されるとリズムのみの小節となります。
演奏のとおりメロディーを記憶しない。	メロディーは単音のみしか記憶されません。	最高音が優先され、記憶されます。

仕様

■鍵盤

一段鍵盤 49鍵 C1~C5

■音色スイッチ

ソロ

音色[]/[]切換え

ピッコロ/オーボエ

サクソフォン/ハーモニカ

トランペット/トロンボーン

バイオリン/セロ

シンセ1/シンセ2

ファンタジー/ファニー

バンジョー/チャイム

ロックギター/ベースギター

オーケストラ

音色[]/[]切換え

ジャズオルガン/パイプオルガン

プラスアンサンプル/ストリングアンサンプル

ジャズフルート/クラリネット

コズミック/フレンチアコーディオン

ピアノ/ブライトピアノ

ハーブシコード/ミュージックボックス

ジャズギター/ハワイアンギター

パイプ/マリンバ

■音色コントロール

ソロ

オン/オフスイッチ

サステインボリューム

ビブラートデプスボリューム

セレステボリューム

オーケストラ

オン/オフスイッチ

サステインボリューム

ステレオシンフォニック

■リズムスイッチ

パターン[]/[]切換え

スイング/スローロック

ディスク1/ディスク2

ロック1/ロック2

16ビート/ロックンロール

ボサノバ/タンゴ

ルンバ/サンバ

マーチ/ポルカ/マーチ6/8

ワルツ/ジャズワルツ

ハンドクラップ1/ }
ハンドクラップ2/ } (ハンドクラップ3
 } (ハンドクラップ1、2共オン)

■リズムコントロール

シンクロスタートスイッチ

スタートスイッチ

テンポボリューム

リズムボリューム

テンポランプ

フィルインバリエーションスイッチ

フィルインスイッチ

■オートベースコード

ノーマルスイッチ

シングルフィンガーコードスイッチ

フィンガードコードスイッチ

メモリースイッチ

バリエーションスイッチ

オートベースコードボリューム

■アルペジオ

バリエーションスイッチ

アルペジオボリューム

■デュエット

オン/オフスイッチ

バリエーション

■ミュージックプログラマー

ソロ

オフスイッチ

レコードスイッチ

プレイバックスイッチ

■オーケストラ

オフスイッチ

レコードスイッチ

プレイバックスイッチ

■コード

オフスイッチ

レコードスイッチ

プレイバックスイッチ

■メモリー容量

コード：100ステップ(100小節又は100コードのいずれかを満たすまで)

オーケストラ：800音符(休符も音符としてカウントする)

ソロ：800音符(休符も音符としてカウントする)

■その他コントロール

パワースイッチ

パイロットランプ

マスターボリューム

トランスポザー

ピッチ

■付属端子

HEADPHONES JACK

DC9-12V IN "

AUX OUT L "

AUX OUT R "

AUX IN "

EXP. PEDAL "

SUSTAIN "

■メインアンプ

5W×2 (4Ω負荷)

■スピーカー

12cm×2

■定格電源

DC9V：SUM-1×6

電源アダプター

カーバッテリー、アダプター

■消費電力

電源アダプター使用時 20.0W (最大音量時)

電池使用時 10.0W (最大音量時)

■外装

本体材質 スチロール樹脂

仕上げ アクリルラッカー塗装

間口 980mm

奥行 236mm

高さ 85mm(譜面立てを含まず)

重量 5.6kg

※重量は乾電池重量を含まず。

■付属品

譜面立て

和文表示シート

トップカバー

電源アダプター(PA-4)

単1乾電池6個

アフターサービスと保証

●サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1カ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

■保証期間の1カ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“このような現象は故障ではありません”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。また勤めて昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけないで済みます。)

〈お客様ご相談窓口〉

東京電音サービスセンター

☎(03) 255-2241 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)

●東京ステレオサービスステーション

☎(03) 255 2241 〒101 東京都千代田区神田駿河台3 4(龍名館ビル4F)

●東京電音サービスステーション

☎(03) 255-2241 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)

●横浜電音サービスステーション

☎(045)212-2223 〒231 横浜市中区本町6-61-1

●新潟電音サービスステーション

☎(0252)43 4321 〒950 新潟市万代1-4-8

(シルバーボールビル ヤマハ新潟センター内)

大阪電音サービスセンター

☎(06) 877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●大阪ステレオサービスステーション

☎(06) 877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●大阪電音サービスステーション

☎(06) 877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●四国電音サービスステーション

☎(0878)33-2233 〒760 高松市南新町6-1(岡田ビル2F)

名古屋電音サービスセンター

☎(052)231-2432 〒460 名古屋市中区栄1-8-7

●名古屋電音サービスステーション

☎(052)231-2432 〒460 名古屋市中区栄1-8-7

●北陸電音サービスステーション

☎(0762)43-5341 〒921 金沢市泉本町7-7

●浜松電音サービスステーション

☎(0534)56-9211 〒432 浜松市東伊場2-14-1

九州電音サービスセンター

☎(092)472-2134 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

●九州電音サービスステーション

☎(092)472-2134 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

●広島電音サービスステーション

☎(082)874-3787 〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3

北海道電音サービスセンター

☎(011)781-3621 〒065 札幌市東区本町1条9-3

●北海道電音サービスステーション

☎(011)781-3621 〒065 札幌市東区本町1条9-3

仙台電音サービスセンター

☎(0222)22-6144 〒980 仙台市大町2-2-10(住友生命仙台青葉通りビル)

●仙台電音サービスステーション

☎(0222)96-0249 〒983 仙台市卸町5 7(仙台卸商共同配送センター内)

〈お預り品修理拠点〉

●東京電音サービスデポ

☎(03) 904-4901 〒171 東京都練馬区高野台2-3-10

●大阪電音サービスデポ

☎(06) 877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●名古屋電音サービスデポ

☎(052)231-7896 〒460 名古屋市中区栄1-8-7

●九州電音サービスデポ

☎(092)472-2134 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

●北海道電音サービスデポ

☎(011)781-3621 〒065 札幌市東区本町1条9-3

●仙台電音サービスデポ

☎(0222)96-0249 〒983 仙台市卸町5-7(仙台卸商共同配送センター内)

〈本社〉

営業技術部 電音サービス課

☎(0534)65-1111 〒430 浜松市中沢町10-1

本 社 / 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL 0534(65)1111

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル
TEL 03(572)3111

大阪支店 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心齋橋ビル東館
TEL 06(251)1111

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL 052(201)5141

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL 092(472)2151

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター
TEL 011(512)6113

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2-2-10
TEL 0222(22)6141

広島支店 / 〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル8F
TEL 082(221)4122

浜松支店 / 〒430 浜松市田町32/東京海上ビル
TEL 0534(54)4116

